

# 財政状況の公表

「財政状況」の公表に関する条例の規定により、平成29年度下半期（10月1日から3月31日まで）の財政状況を公表します。29年度は、全中学校へのエアコン整備が完了するとともに、全小学校と保育園の年長・年中保育室へのエアコン整備に着手するなど、学びや子育ての環境整備に意を用いました。その結果、歳出では教育費や民生費が前年度より増加しました。一方、歳入は市債が増加し、繰越金が減少しました。

## 1. 29年度下半期予算執行状況(概要)

### 一般会計 29年度の収入・支出

#### 市民 1 人あたりでは26.1万円を支出しています

主な内訳をお知らせします。出納整理期間（29年度予算分の未収・未払いの整理期間）中の収入・支出は含まれていないため、最終的な決算額とは異なります。

( )内は構成比

#### 収入

1,102.8億円

市税 483.6億円 (43.8%)

▶市民 1 人当たりの市税負担 … 13.4万円

#### 支出

1,005.7億円

民生費 429.8億円 (42.7%)

子育て支援、障害者福祉、生活保護など福祉の充実

諸支出金 143.6億円 (14.3%)

病院・上下水道・国民健康保険・介護保険などへの支援、基金への積立金など

教育費 96.6億円 (9.6%)

小中学校や生涯学習、スポーツなど

公債費 84.6億円 (8.4%)

市の借金返済

土木費 65.0億円 (6.5%)

道路・公園の整備、まちづくりなど

衛生費・総務費・消防費など 186.1億円 (18.5%)

ごみ・し尿の処理、行政事務全般の経費、消防・救急、商工業振興など

### 市債(借入金)の29年度末残高 (出納整理期間中の借り入れを含む)

一般会計	1,048.3億円
特別会計	2.2億円
病院事業会計	129.4億円
水道事業会計	227.4億円
下水道事業会計	810.6億円
計	2,217.9億円

▶市民 1 人当たりの市債残高 … 57.5万円

臨時財政対策債(※1) 587.6億円

合併特例債(※2) 291.8億円

その他の市債(都市計画・教育など) 168.9億円

※1 = 臨時財政対策債…国の地方交付税の財源不足分を市債で補うもので、返済額の全てが後年度の地方交付税でまかなわれる。地方交付税の代替的なもの

※2 = 合併特例債…新市建設計画に基づく事業の財源にできる市債で、返済額の70%は後年度の地方交付税でまかなわれる。一宮市では、32年度まで活用可能

# 財政状況の公表

## 29年度 収入・支出の主な増減 (3月31日時点の前年度比較)

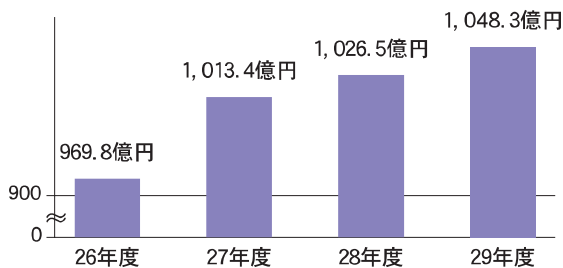
収入 … 市債(借入金)の増加	65.1億円 → 86.4億円 (+21.3億円)
繰越金の減少	30.7億円 → 21.9億円 (▲ 8.8億円)
支出 … 教育費の増加	87.8億円 → 96.6億円 (+ 8.8億円)

## 中期財政計画に基づく取り組みにより、持続可能な未来へとつなげます

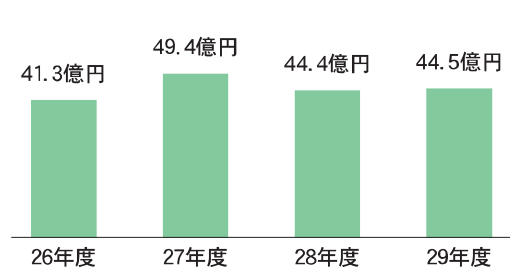
### 現在のおサイフ事情

平成29年度の借入額は前年に比べ増加しており、近年の市債残高は増加傾向にあります。一方で、家計の預金に当たる財政調整基金の残高は伸びておらず、市の財政は楽観できる状況ではありません。

#### 一般会計の市債残高の推移



#### 財政調整基金残高の推移



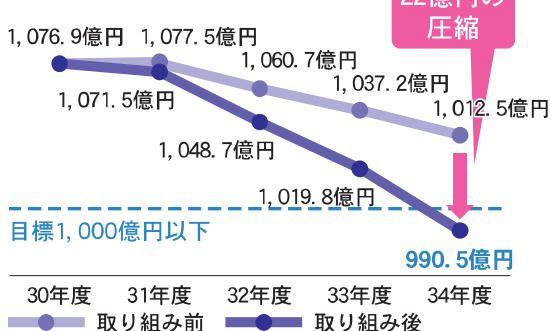
### 持続可能な未来へとつなげるために…中期財政計画のねらい

市では、このような財政状況を改善するために、第7次総合計画の前期基本計画と併せて「一宮市中期財政計画(平成30～34年度)」を策定しました。今後5年間の市債と財政調整基金の残高を試算したところ、特に積極的な取り組みをしない場合には、市債残高は1千億円以上の水準で推移し続ける一方、財政調整基金は平成31年度には底を突く見通しとなりました。

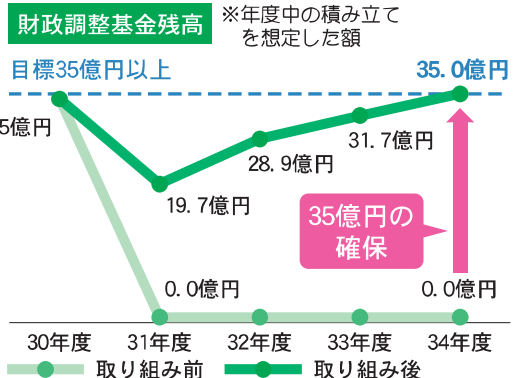
そこで計画では、平成34年度までの目標として「**市債残高1千億円以下への圧縮**」と「**財政調整基金残高35億円の確保**」を設定しました。目標達成のために、歳入面では市税収納率の向上や使用料・手数料などの受益者負担の適正化を図ります。歳出面では費用対効果で優先順位の低い事業の廃止や、公共施設の縮充による維持管理費の抑制などの取り組みを進めます。

▶ 中期財政計画の目標と計画に基づく取り組みによる効果の推計(中核市への移行による影響は除く)

#### 市債残高



#### 財政調整基金残高



市の財政の問題は、現在だけではなく将来世代の市民生活にも影響を及ぼします。

借金を圧縮することは、将来世代の負担を減らすことにつながります。基金を確保することは災害など、いざというときの備えとなります。5年先10年先、あるいはその先を見据えて取り組むことで、いちのみやの未来を持続可能で安定したものにできると考えています。

# 財政状況の公表

以降のページでは、財政状況に関するより詳しい項目・数値を掲載しています。  
(一部の内容は1・2ページと重複しています。)

## 2. 29年度下半期予算執行状況(詳細)

### ●29年度 一般会計の予算執行状況

(30年3月31日現在。 出納整理期間(未収・未払いの整理期間)中の収入・支出は含まず)

歳入 収入済額合計 1,102億7,544万5千円 (94.7%) 歳出 支出済額合計 1,005億6,932万3千円 (86.4%)  
 予算現額合計 1,164億2,900万1千円 予算現額合計 1,164億2,900万1千円

区分	予算現額	収入済額	収入率	区分	予算現額	支出済額	支出率
市 税	496億1,299万7千円	483億5,610万8千円	97.5%	民 生 費	458億6,919万1千円	429億7,574万2千円	93.7%
国庫支出金	184億2,047万3千円	172億9,714万円	93.9%	諸支出金	162億7,157万9千円	143億5,798万8千円	88.2%
市 債	112億1,430万円	86億3,775万円	77.0%	教 育 費	114億8,494万7千円	96億6,194万6千円	84.1%
地方交付税	98億9,592万8千円	98億9,947万3千円	100.0%	衛 生 費	101億6,463万4千円	64億4,988万3千円	63.5%
地方譲与税 その他交付金	89億8,357万6千円	93億126万3千円	103.5%	土 木 費	93億3,600万7千円	64億9,971万4千円	69.6%
県 支 出 金	77億8,312万5千円	66億7,204万4千円	85.7%	公 債 費	89億8,906万8千円	84億5,864万5千円	94.1%
諸 収 入	26億3,716万1千円	24億3,321万2千円	92.3%	総 務 費	72億1,631万4千円	53億8,796万5千円	74.7%
繰越金など	78億8,144万1千円	76億7,845万5千円	97.4%	消 防 費 等	70億9,726万1千円	67億7,744万円	95.5%

※各表の収入率・支出率は、それぞれ収入済額・支出済額の予算現額に対する割合です。

### ●29年度 特別会計の予算執行状況

(30年3月31日現在。 出納整理期間(未収・未払いの整理期間)中の収入・支出は含まず)

会 計 名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
競 輪 事 業	2億4,279万9千円	2億9,333万3千円	120.8%	1億9,304万8千円	79.5%
国民健康保険事業	437億4,733万3千円	410億7,437万6千円	93.9%	410億7,381万7千円	93.9%
後期高齢者医療事業	44億5,758万5千円	45億3,250万3千円	101.7%	40億6,101万3千円	91.1%
介護保険事業	271億1,378万6千円	253億7,766万1千円	93.6%	241億8,005万円	89.2%
簡易水道事業	392万7千円	392万7千円	100.0%	342万1千円	87.1%
公共駐車場事業	1億5,930万7千円	1億6,619万7千円	104.3%	1億623万1千円	66.7%

※収入済額には一時運用金などを含まず。

### ●市民サービスにかかる費用と住民負担の状況(29年度)

(30年3月31日現在。ただし市債残高は出納整理期間中の借入れを含む)

区 分	市民サービス費用 (一般会計分支出済額)	市 税 負 担 額 (一般会計分調定額)	市 債 残 高 (全会計分年度末残高)
市民1人当たり	26万693円	13万3,737円	57万4,911円
1世帯当たり	63万4,371円	32万5,437円	139万8,990円

# 財政状況の公表

## ●市債(長期借入金)の29年度末残高

会計別	事業名など	年度末残高	構成比
一般会計	民生 (福祉施設整備など)	7億8,622万6千円	0.8%
	衛生 (環境施設整備など)	35億5万3千円	3.3%
	土木・都市計画	47億2,814万1千円	4.5%
	公営住宅	13億1,325万8千円	1.3%
	教育 (学校建設・ 社会教育施設整備など)	30億7,474万6千円	2.9%
	合併特例債	291億8,405万円	27.8%
	臨時財政対策債	587億5,979万1千円	56.1%
	その他	34億8,291万2千円	3.3%
	計	1,048億2,917万7千円	100.0%
特別会計	公共駐車場事業 (駐車場建設)	2億1,704万4千円	-

## ●市有財産の状況

(30年3月31日現在)

土地	3,850,968.39㎡
建物	1,101,341.72㎡
有価証券(株式)	5億630万円
出資による権利	8,603万8千円
物品	1,077件
債権	5億2,080万9千円
基金	土地… 791.32㎡ 預金など… 113億2,318万6千円

合併特例債…新市建設計画に基づく事業の財源にできる市債で、その元利償還金の70%は後年度の地方交付税により国から財政措置がなされる。一言市では平成32年度まで活用可能

臨時財政対策債…国の地方交付税の財源不足分を市債で補うもので、その元利償還金の全てが後年度の地方交付税により国から財政措置がなされる。地方交付税の代替的なもの

## ●29年度 企業会計決算見込みの状況

会計名	収益的収支				資本的収支			
	収入	執行率	支出	執行率	収入	執行率	支出	執行率
病院事業 上段:決算見込額 下段:最終予算額	217億999万円	99.8%	219億4,928万9千円	98.6%	18億9,220万7千円	100.0%	32億7,649万8千円	73.2%
	217億4,485万2千円		222億6,566万4千円		18億9,230万8千円		44億7,779万6千円	
水道事業	53億5,467万5千円	99.9%	49億5,290万円	99.4%	15億8,881万8千円	100.8%	34億8,878万8千円	99.4%
	53億6,186万9千円		49億8,512万7千円		15億7,640万2千円		35億1,083万1千円	
下水道事業	82億3,157万9千円	99.8%	81億5,698万円	99.5%	43億7,200万1千円	98.2%	74億8,299万7千円	98.7%
	82億5,080万5千円		81億9,504万9千円		44億5,316万2千円		75億7,937万5千円	

※資本的収入額が支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金などで補てんします。

## ●企業会計の財産と企業債の状況(29年度末)

会計名	財産の状況				企業債の現在高
	有形固定資産	無形固定資産	投資	合計	
病院事業	201億1,501万円	262万円	2億8,495万5千円	204億258万5千円	129億3,713万4千円
水道事業	438億789万2千円	2億8,124万5千円	518万円	440億9,431万7千円	227億4,091万4千円
下水道事業	1,340億7,026万4千円	58億7,935万1千円	17億2,609万円	1,416億7,570万5千円	810億6,318万円